

病院勤務医の負担軽減 及び処遇改善に関する 取り組みについて

当院では、医師・看護師などの業務分担を図り、医師事務作業補助の雇用や、連続当直を行わない体制、当直翌日の業務内容に対する配慮、看護師・コメディカル部門において次のような「勤務医負担軽減及び処遇の改善」に取り組んでいます。

【各部署取り組み内容】

①看護師による「初診時の予診」「入院前の説明」「検査手順の説明」

「事前に取り決めたプロトコールに基づく採血や検査の実施」など

②薬剤部による「服薬指導」「手術室における薬剤管理」など

③放射線技術部による「読影補助」「CT コロノグラフィーのカテーテル挿入
・空気注入・撮影・空気の吸引」など

④臨床検査部による「静脈採血」「救急（ER）での生理検査の実施」など

⑤臨床工学部による「鏡視下手術におけるカメラの操作と保持」など

⑥栄養管理部による「嚥下障害患者の食形態の提案」など

⑦リハビリテーション部による「嚥下造影検査の補助」など

⑧救急救命士による「救急患者の診察補助」「転院搬送の実施」など

⑨事務部による「当番・当直帯における電話対応」など